

西根

地域文化を育てる田頭ふるさとまつり



学校発表で劇「ベニスの商人」を披露する田頭小6年生

地域の文化活動を高めようと田頭ふるさとまつりは11月11日、田頭小学校体育館で開かれました。

このまつりは毎年開催され、今年で30回目。学校発表と地区発表の2部構成で行われました。学校発表では、小学生たちが合唱や劇などを発表。北上から招かれた三館鬼剣舞保存会が、勇壮な舞を披露しました。地区発表では、児童らが郷土芸能などを舞い、訪れた人たちを楽しませました。

渋川少年消防クラブが火災予防に一役

渋川小学校の全児童で組織する渋川少年消防クラブは11月9、10の両日、地区内で防火呼び掛け活動を行いました。

この活動は、11月9日から15日までの秋の全国火災予防運動週間に合わせて実施したものです。児童は半てんと帽子を身に着け、午後7時に消防団屯所を出発。消防車両で地区内を巡回し「ストーブの近くに燃えやすい物を置かないようにしましょう」などと火災予防を呼び掛けました。



防火呼び掛けに出発する児童たち

八幡平市

学習院が八幡平松尾校舎の土地を寄付

学校法人学習院は11月1日、松尾地区の緑が丘にある学習院八幡平松尾校舎の土地を市に寄付しました。

学習院の宗像源光施設部門担当理事と同校舎を長年管理した斉藤重夫さんなどが市役所を訪れ、田村正彦市長に土地を寄付する旨の文書を手渡しました。

同校舎は、旧松尾村が昭和46年に学習院へ無償で譲渡。約11畝の敷地は学習院が国な



学習院八幡平松尾校舎の土地を市に寄付する文書、田村市長へ手渡す宗像理事(写真右)

どから購入したものです。学習院が建物の使用を終えた時は、旧松尾村に返還することになっていましたが、市は建物の返還を受ける権利を放棄する議案を、5月9日の第1回議会臨時会で承認しました。

これを受けて学習院は、同校舎を解体した上で、土地を寄付することとし、10月に解体工事が終了しました。

同校舎は、学習院で学ばれた皇太子さまが訪問されるなど皇室とゆかりの深い施設。学習院は、閉鎖後に記念碑を設置したほか、市は由緒あるこの場所を、記念公園として整備する予定です。



校外学習施設として活用されてきた八幡平松尾校舎

平和について考えてもらおうと、西根ライオンズクラブは平和ポスターコンテストを実施し、11月15日に市商工会館で表彰式を行いました。

今年のテーマは「平和を祝して」。西根、松尾地区の小中学校から172点の応募があり、最優秀賞3人のほか10人が入賞しました。

■最優秀賞 (敬称略)
 巖根美希(西根第一中2年)、三浦加奈(東大更小6年)、工藤あきほ(田頭小6年)

世界平和の願いポスターに込めて表現



最優秀賞の工藤あきほさんは、県でも優秀賞を獲得しました

講演や寸劇でパートナーシップ考える



生活の中にある男女の役割の考え方の違いを演じた寸劇

男女のパートナーシップの必要性を考える市男女共同参画フォーラムは11月19日、西根地区市民センターで行われました。これは、昨年11月に発表した市男女共同参画ネットワーク(中軽米こう子会長)が主催したものです。

今回は、県立大学総合政策学部の吉野英岐教授が「八幡平市から発信しよう」と題して講演。住民らが生活の中にある男女の役割や立場の違いを、寸劇で問題提起しました。

大更と平笠地区に学童保育クラブ開設

児童が放課後に、遊びや勉強の場として安心して過ごす学童保育クラブが11月1日、大更、平笠両地区に開所しました。両学童クラブは大更小、平笠小の児童をそれぞれ対象にしたものです。

大更地区は、フーガの広場隣の消防団第1分団屯所2階に開設。定員は30人で、15人が申し込みました。指導員は2人配置されています。

平笠地区は、平笠小の敷地内にある同校の集会施設を活用し、6人が利用開始。定員は15人で、2人の指導員が配置されています。

両クラブとも、放課後から午後6時半まで利用可能で、共働きなどで自宅に保護者が不在となる児童が対象です。児童たちは宿題をしたり、指導員から読み聞かせをしてもらったりして過ごします。



▲大更学童保育クラブでは、15人が利用開始。初日は、指導員から絵本の読み聞かせをもらったりしながら過ごしました



6人が利用する平笠学童保育クラブ。宿題をした後、ゲームやおやつを食べながら、楽しく過ごしました

安代

県生命保険協会が福祉巡回車を寄贈



県生命保険協会から福祉巡回車 1 台が寄贈されました

岩手県生命保険協会は10月13日、市社会福祉協議会安代支所に福祉巡回車を1台寄贈しました。

この寄贈事業は、生命保険会社19社の社員など4千人に募金呼び掛けを行っているもので、今年で16回目になりました。寄せられた善意は福祉車両として、これまでに32台が県下で活躍しています。

同安代支所では、寄贈してもらった軽自動車を活用し、福祉活動を一層推進します。

あしろ保育所生活発表会で父母ら笑顔

父母や祖父母に子どもたちの成長した姿を見てもらおうと、あしろ保育所は11月11日、同施設で生活発表会を行いました。

0から5歳児までの園児たちが、年齢ごとのクラスに分かれて、かわいらしいお遊戯を披露。3歳児以上の園児は劇にも挑戦し、父母らを楽しませました。締めくくりは「犬のおまわりさん」を園児たちが合唱し、元気な声が会場いつぱいにこだましました。



「かさじぞう」の劇を発表する年長組の園児たち

特産ヤマブドウを使ったワインで乾杯

市の特産品・ヤマブドウをPRしようと八幡平山ぶどうワインパーティーは11月23日、テレストラック安代で開かれました。

この催しは、ヤマブドウを原料とした八幡平ワインを販売する市の第三セクター・株式会社安代産業振興公社が開催したものです。

パーティーには、ワイン愛好者のほかヤマブドウ生産者や関係者など約180人が参

加。同公社の社長を務める田村正彦市長が「日本一のヤマブドウを県内外に売り込み、地域全体の活性化につなげたい」とあいさつしました。

テーブルには、市の特産品・ニジマスやホロホロ鳥、ホウレンソウなどを使い、洋風にアレンジした料理がズラリと並べられました。参加者は目と舌で料理を堪能し、会話とワインに酔いしれながら、楽しいひとときを過ごしました。

パーティーでワインを片手に語らないながら、楽しいひとときを過ごす参加者

松尾

にぎわった松尾地区の健康福祉まつり

福祉について理解を深めてもらおうと、松尾健康福祉まつりは11月12日、市総合福祉センターで開かれました。

このまつりは、毎年この時期に行われ、今年で17回目。約400人が訪れました。

会場では、市社会福祉協議会の活動などを展示して分かりやすく紹介。血圧や体脂肪を計測したり、歯科相談をす



市民から寄せられた品物などを販売する福祉チャリティーバザー

るコーナーも設けられ、健康の大切さについて学びました。

朗読ボランティアさくらの会は、ハンディキャップ体験会を開設。体験者は重りをつけたベストや、ひざを固定するサポーターなどを装着して会場を一周し、お年寄りなどが普段感じている困難さを体験し、理解を深めました。

会場では、市民から寄贈された品物を販売する福祉チャリティーバザーや、新鮮野菜を販売する青空市も開かれ、人気を集めました。午後からは、福祉チャリティー演芸会も行われ、美しい舞や歌声で楽しい一日を過ごしました。



健康ヨガ教室で心地よい汗を流しました

ウォーキングをしながら道路のごみ拾いをする柏台歩け歩け運動実行委員会は11月8日、「小さな親切」運動県本部の実行章を受章しました。

柏台地域は、八幡平の玄関口に位置する観光エリア。観光客を気持ちよく迎えようと、地域で清掃活動に取り組んでいます。同委員会は、平成11年から地域連携と体力づくり、環境保全のためクリーンウォーキングを始め、14日には54回目を実施しています。



小さな親切実行章を受ける高橋良二会長(写真左)

柏台歩け歩け運動実行委が実行章受章



地域住民が消火器を使った初期消火訓練を実施

もしも…に備えて火災防御訓練を実施

大規模建築物からの火災発生に組織的、効率的に対応しようとして11月12日、火災防御訓練が松尾、西根、安代の3地区で行われました。これは、秋の全国火災予防運動週間に合わせて実施したものです。

松尾地区では、松尾総合支所を主会場に実施。ボイラー室から出火した想定で、消防団員らが、実践的な訓練を行いました。地域住民は火災通報訓練や初期消火訓練などを行い、防火意識を高めました。